



永島福太郎録
鹿島
戦記
後編七号
加賀主殿



A445
7

永島福太郎録
永島子孟齋畫

繪本 鹿兒島戰記

東京書肆 青盛堂版

鹿兒島戰記後編第七号

東京 永島福太郎録

と茲小官軍方の都の城と陥入とんと
あつく佳撃して遂小霧島の峻山
小激戦は三日間と経て
群集の賊と走らせ

追撃せし
程一賊ハ城中へ引あけ
守備嚴重小ありは容易に落城



合の難くを見へし官軍の兵士
必死の勇とありし三方より
せし賊猖獗とさめしむるべし
永く保との成べきとそぞろふる

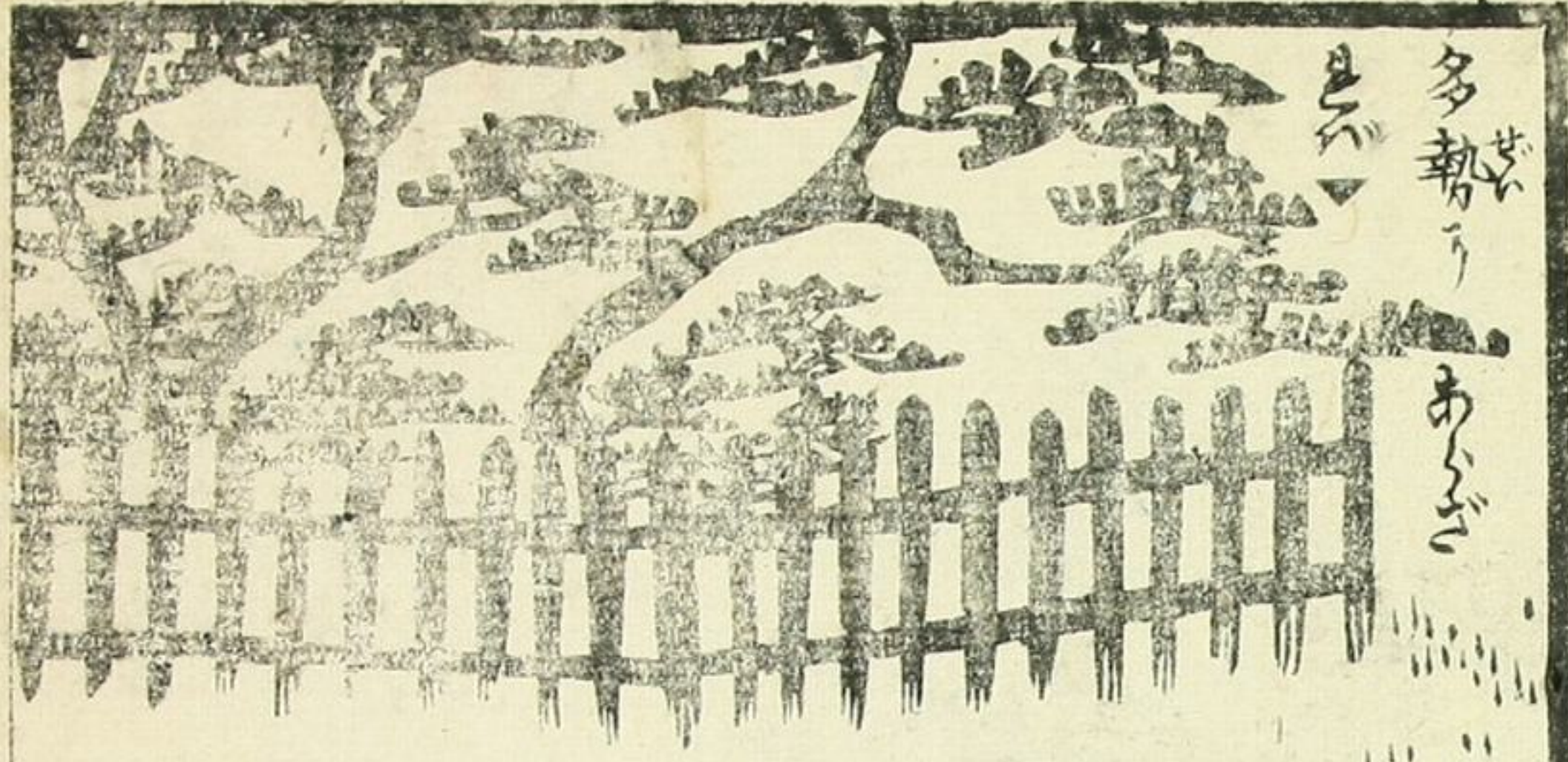
鹿兒島戦記後編

48-7903

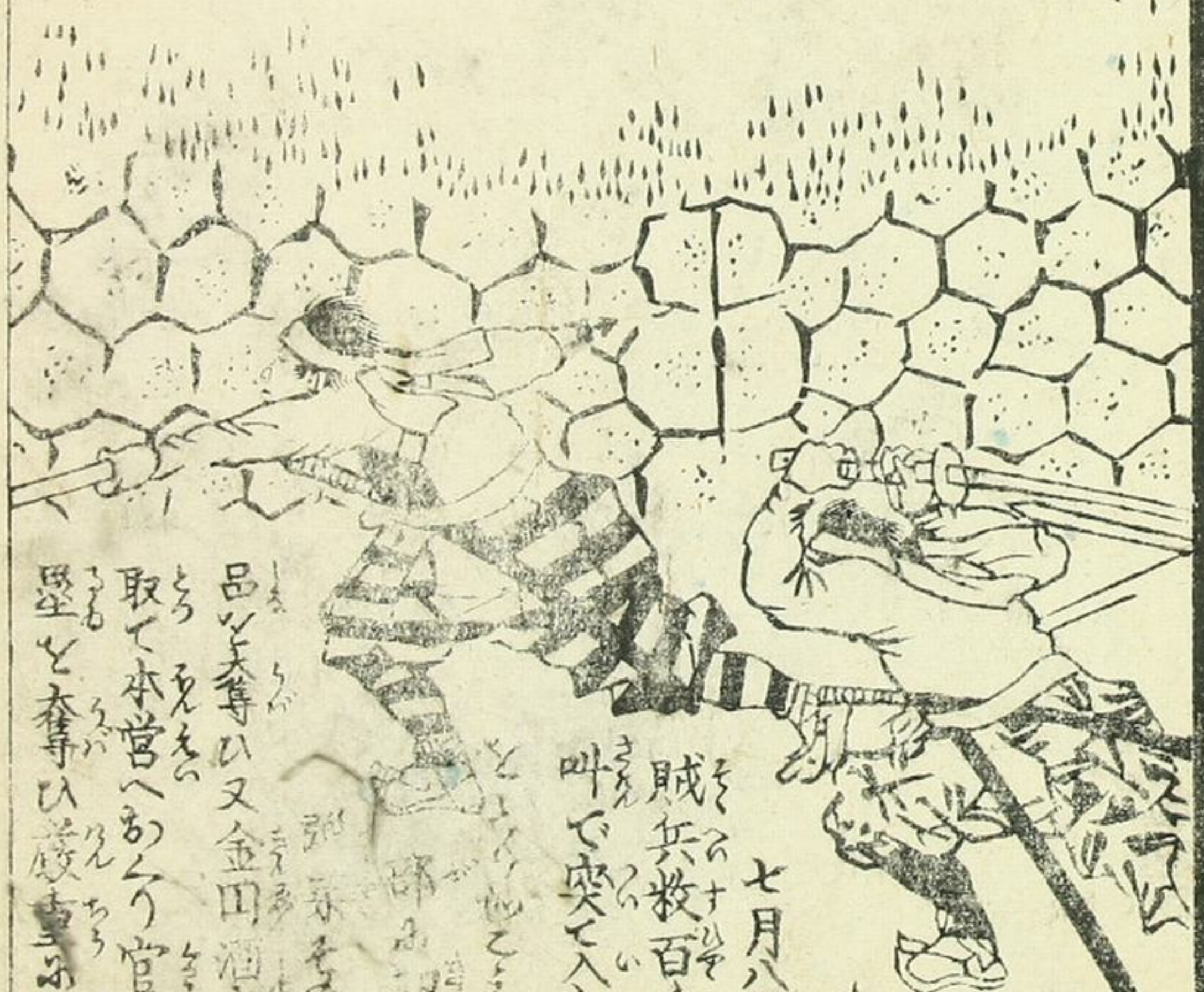
茲小鹿見一々
海路志布志上
陸せ別働隊第旅
圍高島少將の兵一戦
志布志と抜き牛根と
取り一挙小都の城
進入せんとのきま
く賊徒い前後の敵
をうけて進退爰に
谷まのりと死力を出
て靉夜来一屢々官
軍と悩ます小
官兵のころ



志布時
志布退
ひ田
川守
百川
と防



多勢
あま



七月八日の夜
賊兵救百人喚き
叫で突入り官軍
と
御
線と
定め
る
品々奪ひ又金田酒米
取て本營へおくり官軍の
壘と奪ひ破重なるを

防衛の策とめざし官軍進撃の道と断め
りる〇きそら



別動第一旅團の兵ハ

つらう四中隊の小勢

あはれ死とあつて戦へ

ども

賊の多
勢小
撃立

一旦百

川と退をきか再度兵と

整へて勢威尖く進撃し百川と

破り志布志を抜

ヤツバラ山の敵

と追撃し猶

日夜の差別あり

百引々迄進撃

才賊兵茲に累

を築き嚴敷くあせき

戦へども官軍死憤の

勇をあらひ無二無三小攻入

りれば賊兵墨を捨て退きたり

三

三

高島少将并
参謀長岡
本中佐の二名の
脱議の上是迄賊と
追詰らんば味方の
疲勞を憇んと
拔刀隊ハ高限の
本陣ハ引揚させ
兵士ハ此処ヲ守備
とそノ又救日のつ
と山林あり吹たる
涼風小昏の暮
まてりす



振り無二無三ハ
斬人ハ官
軍左右ハ
敵を受
小勢ハ
以て
大勢ハ
賊と相手ハ
戦ふ賊ハ方々

銃普々組んで打
つらぐ夕暮頃ハ
一發の相圖の合砲
響きとそノ傍右手
の方より数多の賊兵
小銃烈しく打つる
官兵大ハあざろたれ

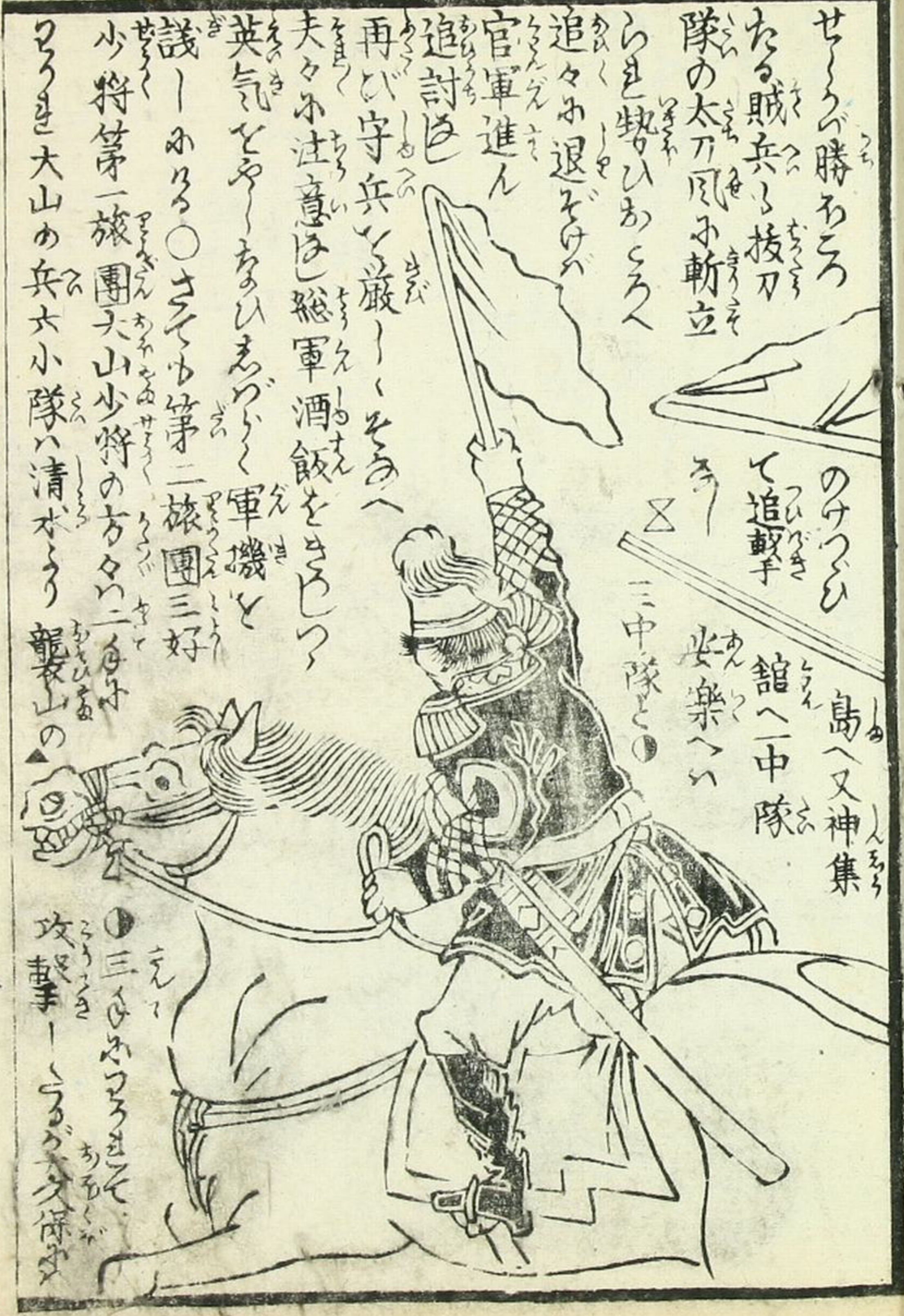


御景の
さるさる
又も左の方
よして内と揚る
鯨波の声賊兵又々
微塵もあれ
と撃ち込め
官軍を
苦戦を
死
先
尖



双方共々
 死傷多く骸の積で
 山のどろ血へちみこ
 泉の如く中も
 宇都宮少佐の左の足を撃
 抜とられと更と
 せびと指揮せ
 流石の陸軍の英雄
 あり又高橋中尉の頭
 鉢と打抜とて即死せり
 此時前小引あけ
 隊はれが如く走付
 味方と助け突戦

島へ又神集
 館へ中隊
 安楽へ
 三好の兵
 五中隊より



せしうの勝あり
 たる賊兵は技刀
 隊の太刀風小斬立
 らは勢ひあころへ
 追々小退をひ
 官軍進ん
 追討は
 再び守兵を撤し
 夫々小注意は総軍酒飯をきり
 英気をやまひあつて軍機と

のついで
 て追撃手
 三好の兵
 三好の兵
 三好の兵

東記島後編

國分をひし山ホりて敗軍
 甘し賊屯集してまじらる
 大軍をい官
 軍七日の正午
 より昏夜攻
 戦をまじらる枝
 とてえはうて
 大山のるハ賊の側面を
 うわははれて攻られ
 賊兵をせはうの脊後
 の山へ敗走るは九日官軍
 此地を占め猶大久保の脊
 後ある神集館の賊を追殺す



飯野花越ふつるに敗兵山上の
 踏止り防戦るすを忽ち討て
 是とやあり
 直ちハ霧島
 山にむふ賊
 險阻ハうて力
 戦るハ○さそ
 又警視隊一天
 隊と曾我少将
 の二手の國分より
 進と敷根福山の
 賊を討つ此手の賊
 堅墨よりうて



飯野島後編七

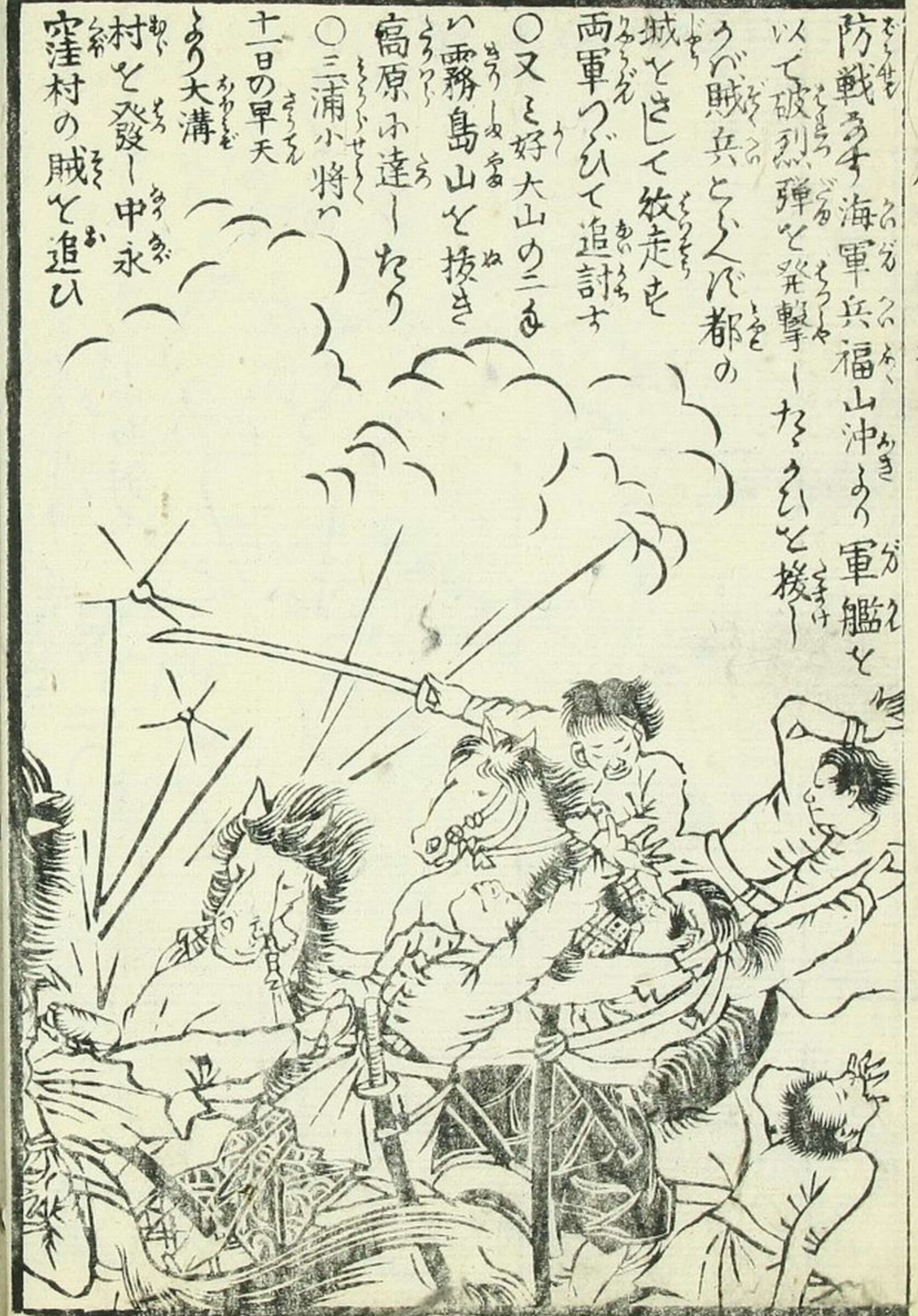
防戦あり海軍兵福山沖より軍艦と
以て破烈弾を撃撃したるを接し

うの賊兵とくべ都の
城とさして放走せし
両軍つひて追討す

○又と好大山の二
霧島山と抜き
高原小達たり

○三浦小將の
十日の早天
より大溝

村と設けし中永
窪村の賊と追ひ

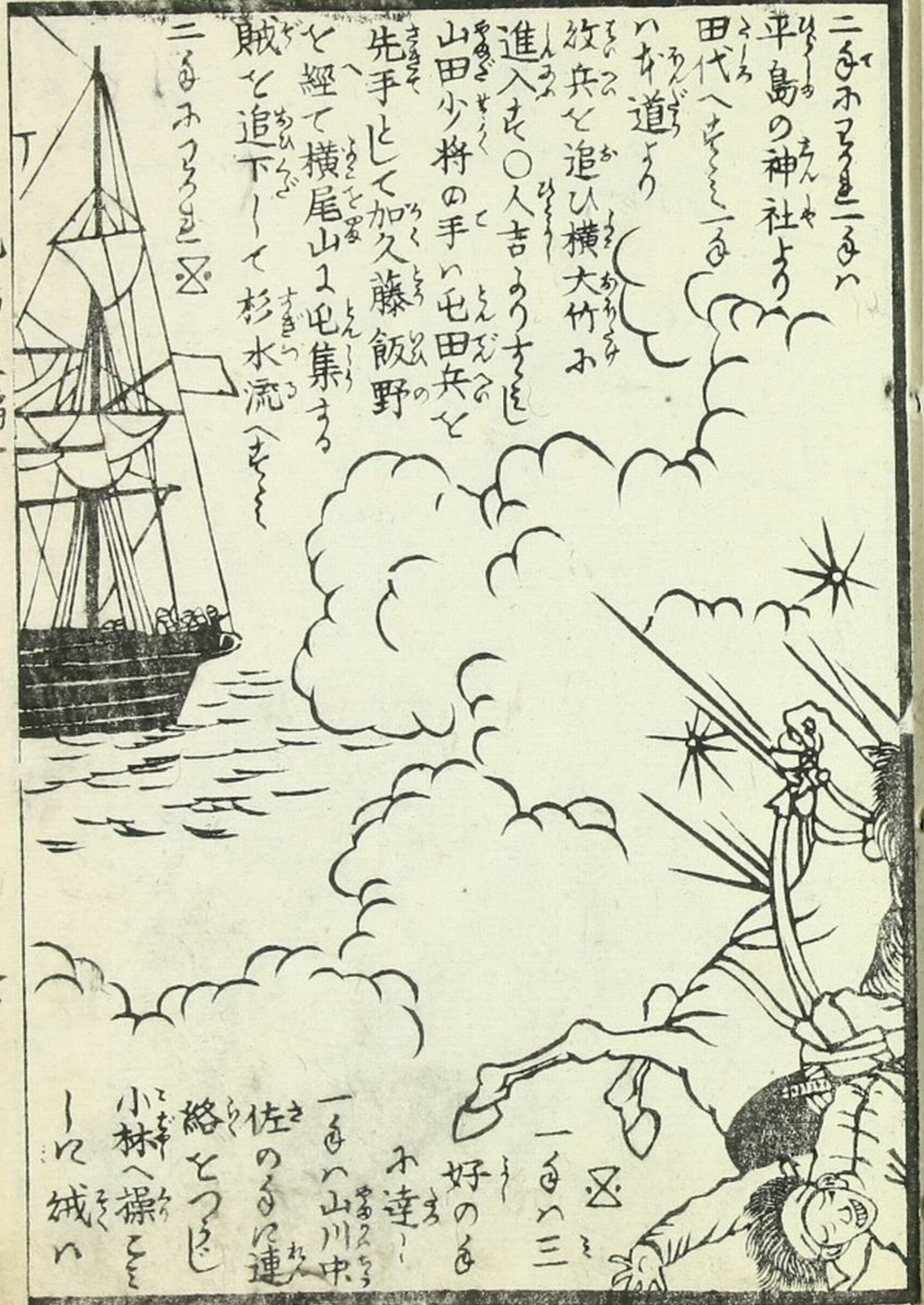


二のあつた二の
平島の神社より
田代へ

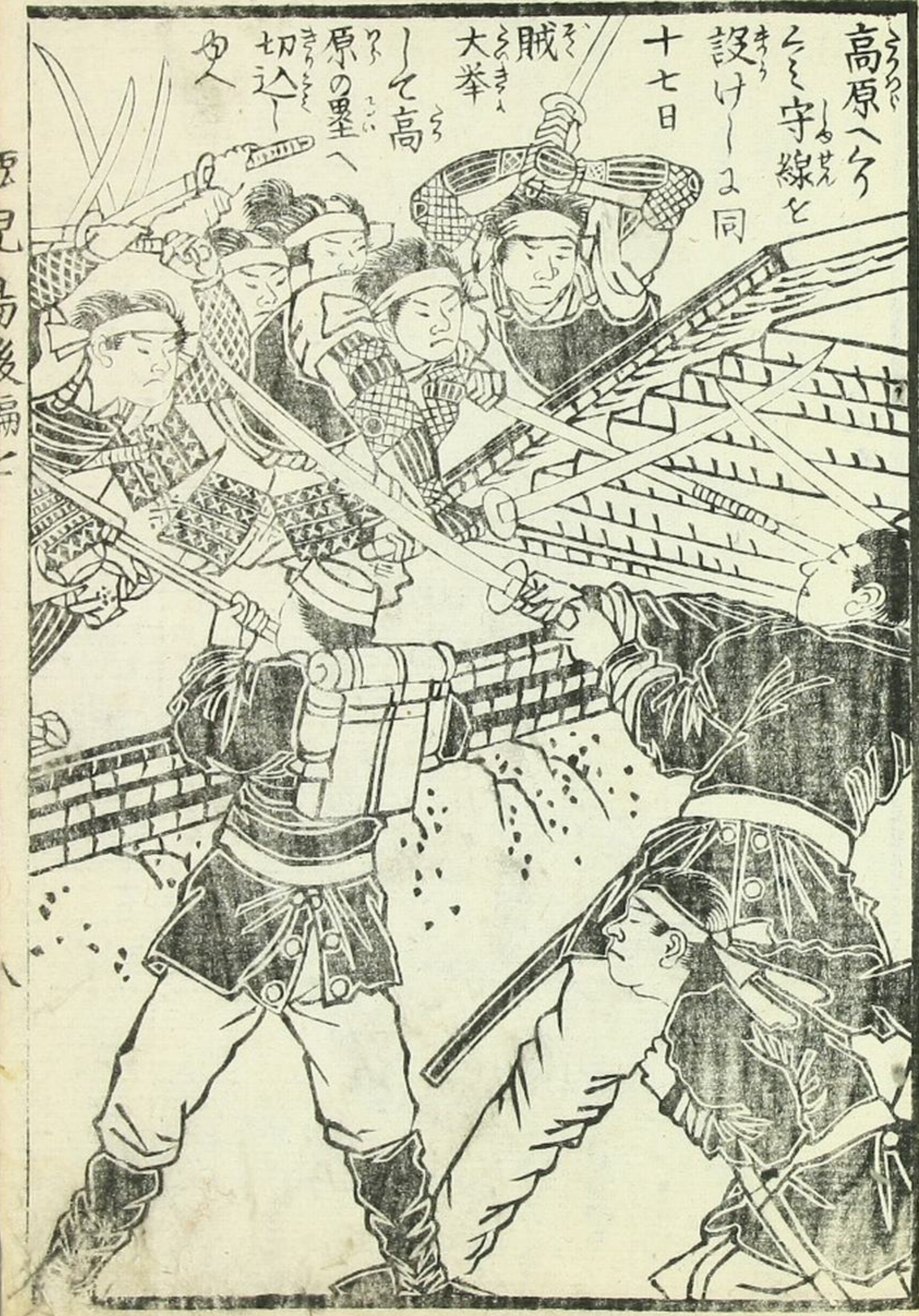
いかな道より
彼兵と追ひ横大竹小
進入す○入吉ありす

山田少將の手い屯田兵と
先手として加久藤飯野
を経て横尾山と屯集する

賊と追下して杉水流へ
二のあつた二の

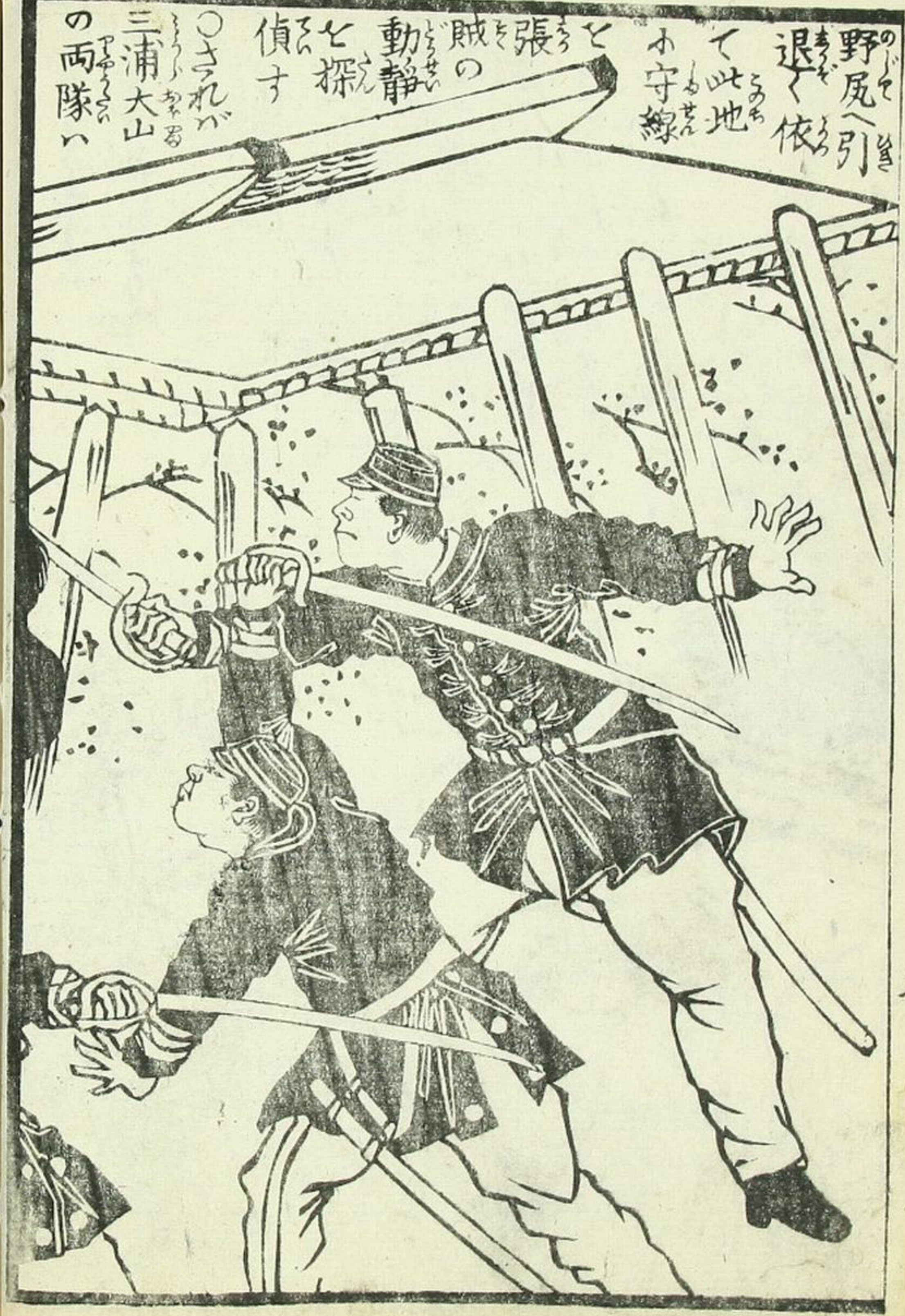


好の
不達
一の山川中
佐の
絡とつじ
小林へ操
しに城ハ



原見易後編一

高原へ分
守線と
設け一は同
十七日
賊大挙
して高
原の墨へ
切込
夕

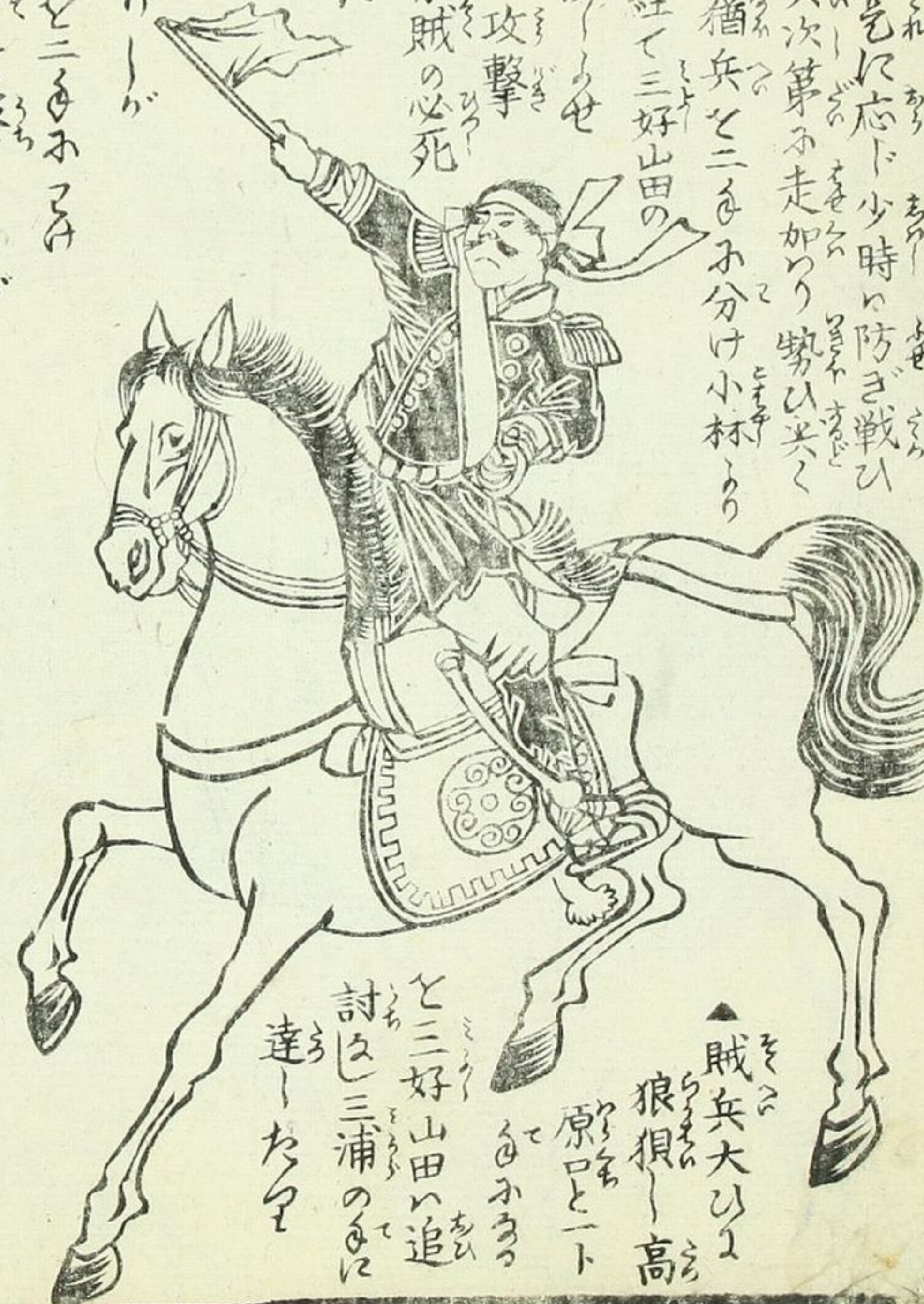


野尻引
退く依
て此地
小守線
張ると
賊の
動静
偵探
偵す
○され
三浦大山
の両隊ハ

原見易後編一

七

官軍も是に忘れ少時の防ぎ戦ひ
し賊兵次第不走加り勢以失く
突戦し猶兵と二も分け小林より
野尻を経て三好山田の
守戦へあしむせ
激々攻撃
あつる不賊の必死
の勢いに
官軍
苦戦ありしが
忽ち兵と二も分り
賊の右を撃つべし



▲賊兵大ひよ
狼狽し高
原口とト
と三好山田へ追
討はし三浦の
達したる

010190508051

